

## 「言語技能入門」・医療現場での通訳実践（2）

### 事例研究シナリオ

#### 1. コロンビア人、男性の労政事務所での通訳

賃金未払いで、労政事務所と一緒にいく事になりました。事務所で順番待ちをしている時の会話です。

「私は、日本に来て3年になります。今、辞めた会社は約束した賃金を支払ってくれません。支払うように言っても、最初は「支払っている」の一点張りで聞いてくれませんでした。その後は、「辞めて欲しい」と言われ、解雇されました。内緒の話、私は狙われているのです。秘密結社は、知っていますか？世界中にあって、一つは六本木のロシア・レストランです。私が秘密を握っているから、私を日本から追放したいのです。わかりますか？どうしたら、いいでしょう。あなたは、私を助けてくれますか？」

#### 2. フィリピン人の女性の医療通訳

腫瘍の検査結果を聞く為に病院と一緒にいくことになりました。病院の待合室で順番待ちをしている時の会話です。

「2ヶ月前に、検査の為に来ました。最初は子宮筋腫だと思って検査を受けましたが、子宮にポリープができていと言われて、少し取って今日、検査の結果がわかります。日本のドクターは、本当の事を言わないかもしれないから、とても心配です。家族は皆、フィリピンに住んでいます。私は、日本人の夫がいます。でも、単身赴任で今、ここにいません。最初は一緒にいく予定だったのに、会社の方針が変わって私は、東京に一人です。主人には心配をかけたくないので言っています。癌だったら、どうしましょうか。私、恐いです。どうしたら、いいでしょう。通訳さんにこんな話しても仕方がないのはわかっていますが、心配です。予約できているのに、どうしてこんなに待たされるのでしょうか。」

#### 3. フランス人の女性と大家さんとの交渉の為の通訳

マンションの敷地内にある桜の木をめぐって、大家さんともめている様です。大家さんと会う前に事情を話しておきたいと言われ、大家さんとのミーティングの1時間前に依頼人の家に行った時の会話です。

「私は、日本に3年住んでいます。職業はフランス語講師ですが、本業は、ストリート・アーティストです。日本の文化は好きで、この場所も、窓から桜の木が見えるからここに決めました。それなのに、今月になって、枝を全部切ってしまいました。通りから私の部屋は、まる見えです。桜の木がないと、ここに住んでも何の意味もありません。大家さんに話して引越しすることを話したら、私の勝手な理由で出るなら敷金は全額返せないと言われました。私は、お金の話を言っているのではないのです。あなた、わかりますか？」

桜の木を切るのは可哀そうでしょう。違いますか？私は、それを許せない。あなた、分かってくれますか？」

#### 4. ブラジル人カップルの子供の学校担任との面談の通訳

3ヶ月前に転校した子供の担任との面談の通訳です。面談を待っている間の会話です。

「私達夫婦は、2年前に日本に来て、今度家族を呼び寄せました。ここの学校は、特殊学級があるので言葉ができない子供にもよいと思っていたのですがけれど・・・ロベルトは、10歳です。サッカー、大好きです。でもまだ、友達が一人もできません。それ、おかしいですね。子供は、言葉通じなくても普通、大丈夫でしょ？ブラジルでは、元気で勉強もよくしていました。でも、最近、家に帰ってもあまり話しません。なんだか、いやですね。あなた、子供の頃、どうでしたか？」

\* どのスクリプトが一番、「苦手」と感じますか？